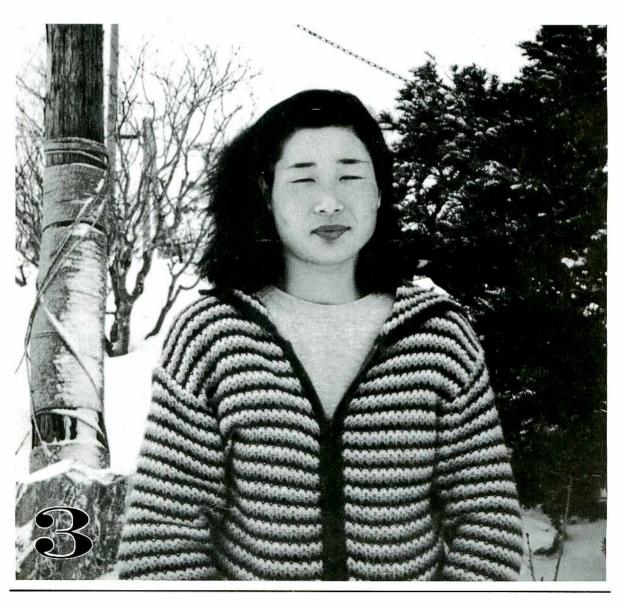
なかべつ農協だより



第123号

昭和60年3月

発行 中標津町農業協同組合 編集 営 農 部 印刷 アート印刷株式会社



価格要求運動始まる!!

早急に行うこと。

(3) その他

- イ)農業用機械機具の国産化促進と共に部品規格の 統一をはかるよう行政指導の強化をはかること。
- ロ) 乳飲料等の生乳使用割合の拡大をはかるための 行政措置を講ずること。

3. 畜産、酪農需給調整対策

- イ)加工原料乳限度数量について、乳製品の需要状 況等を踏えた数量の引き上げを行うこと。
- ロ) 生乳の用途別取引きを適格に把握できる体制を 確立すること。
- ハ) 畜産振興事業団の適正在庫量を明示すること。
- ニ) 基準取引価格の設定に当っては、市況実勢価格 を反映して設定すること。
- ホ)保証価格の設定に当っては再生産確保を配慮して設定すること。
- へ) 乳価の設定にあたっては無脂固型分等を加味し 設定すること。

4. 飼料対策

- (1) 自給飼料対策
 - イ) 飼料、肥料等生産資材の安定供給と価格の抑制、 凍結対策を積極的に講ずること。
 - ロ) 草地造成、牧野造成事業の枠拡大並びに現補助

率の確保。

- (2) 流通飼料対策
 - イ)配合飼料の長期安定供給をはかるため、飼料穀物の備畜増大と配合飼料安定基金の強化をはかること。

5. 畜産物の流通改善、消費拡大対策の強化

- (1) 流通改善対策
 - イ) L L 牛乳の常温流通化の早期実現をはかること。
 - ロ) 乳雄牛等の大衆牛肉の流通等食肉、流通の変化 に対応した新しい格付制度を早急に確立すること。
- (2) 消費拡大対策
 - イ) 牛乳の消費拡大のため、学校給食用牛乳供給事業を継続実施すること。
 - ロ) 食べる牛乳として、国産ナチュラルチーズの振 興が必要である。
- (3) 酪農、畜産物の輸入自由化阻止対策
 - イ) 牛肉をはじめとする酪農畜産物の輸入自由化、 枠拡大を絶対阻止すること。
 - ロ)乳製品の輸入抑制、特に偽装乳制品の輸入抑制 について行政指導を強化すること。

6. その他

農業用貨物自動車の使用実態を踏え車検期間の延長 等農家負担の軽減措置を講ずること。

運 動 日 程 表

月	H	内	容	場	所	ž	梦	加	者	(人員)
3月/7~	8 ⊞	第1次中央要請運動		東	京	酪畜対本部	部委員(1名)		
	14日	全道代表者大会 (酪農協会主催)		札幌自注 13:00~		参加割当	標津町 上春別	2 西春	津4 計 別4 中	根別3 春別3 事務局1
	15日	全道農協組合長会議		札幌共治 13:00~	斉ホール		全組合	長、事務	局(10名)
15 ~	16日	第2次中央要請運動 (酪農協会主催)		東	京		酪農協	会役員((2名)	
18~	19日	第3次中央要請運動 (地域特別運動) ○18日 北海道要請集 ○19日 全国大会参加 ○高審委員、農水省、 ○全中との情勢報告会	地元国会議員	東 全共連せ 13:00~ 都市セン 10:00~	19-	各農協代表	表 標津 上春 別海	別1 西 3 根室	標津2	(道80名) 計根別2 中春別2 1 青年部4
25~	26日	根室の酪農を守る会中	央運動	東	京		守る会	代表(3	名) 及川	会長、事務局
27日~	決定	第4次中央要請運動 (地域特別運動)		東	京		各農協	組合長、	各連支所	長、事務局 (17名)



昭和60年度酪農畜産物

根室地区酪農対策協議会の運動要領

1. 基 本 方 針

根室の酪農は国の示した酪農近代化計画に基づき、 多額な投資を行い、他に類のない急速な規模の拡大が なされ、今ではEC諸国をしのぐ規模に達している。

しかし、安定成長時代に入り農畜産物の需要の鈍化により厳しい需給調整化に突入し、この間畜産物価格の長期低迷、生産資材価格の上昇、加えて米国を中心とした自由化圧力の増大による枠の拡大、脱脂乳の緊急輸入の決定、更には国の財政悪化を理由とした60年度農林予算の大幅削減など、酪農畜産経営を取りまく環境は依然として厳しい状況下にあります。

これら現状の打開と地域経済の振興をはかるため、 全国、全道統一要求事項の実現に向けて地域ぐるみの 強力な運動を展開する。

2. 要 求 事 項

全国、全道統一事項とする。

3. 運動実施方策

- (1) 運動推進体制
 - イ) 市・町に対して積極的な働きかけを行い、首長 を先頭に立てた運動体制をとると共に、地元関連 産業との提携をはかり、地域ぐるみの運動体制を 実現する。
 - ロ) 農協酪対、地区酪対などが一体となり効果的な 中央要請運動体制を確立する。
- (2) 組織内討議並びに地区代表者研究会の開催
 - イ) 酪農畜産をめぐる諸情勢の理解を深めると共に 加工原料乳保証価格、牛肉価格並びに政策要求内 容、運動推進方法について各農協ごとに研究会な ど組織討議を実現し、組合員の意志結集と反映に つとめる。
 - ロ) 管内酪農民の代表者による地区代表者研究会を 実施し、現状の認識と政策価格要求事項の理解を 深め、要求実現に向けての意志結集を図る。
- (3) 具体的な運動推進方策
 - イ) 全組合員の参加運動とするため、ハガキによる 要請運動を展開する。
 - ロ) 市・町長・議会議長に対し農協酪対による要請 と請願決議を要請する。
 - ハ) 地元関連産業が参加している「根室の酪農を守 る会」の代表者により中央要請運動を行い、地域

ぐるみの運動を展開する。

- 二)農協酪対、地区酪対一体による中央要請運動を 展開すると共に、道酪対、酪農協会など上部組織 主催の運動にも代表者を派遣し、地区の意見反映 に努める。
- ホ)報道機関との連携を密にし、積極的な情報の提供を行う。

4. 運動日程

表により実施される。

根室地区酪対の統一要求事項

1. 畜産、酪農経営の健全化対策について

- (1) 負 債 対 策
 - イ) 酪農負債整理対策に係る必要資金枠の確保をは かること。
 - ロ) 同資金の対象とならず現在、負債が累増している農家への新らたな長期、低利資金の創設をはかること。
 - ハ) 負債対策のための固定資産の処分による譲渡所 得に対しては非課税とすること。
 - ニ) 基金協会の保証基盤の確立と運営の健全化の措置を講ずること。
- (2) 指導体制
 - イ)経営指導のための新たな技術開発や指導班に対 する助成の確保をはかること。(コンピューター ソフト事業等)
- (3) その他

農用地開発公団事業に伴う事業負担金の償還にあ たっては特に経営悪化し計画的償還が困難な農家に 対し、負債整理対策の措置を講ずること。

2. 畜産、酪農生産振興対策

- (1) 資 金 対 策
 - イ)新規就農に対する門戸を開くよう、資金、税務 等総合的な施策を講ずる事。
 - ロ) 農地取得資金の引上げと必要枠の確保をはかる こと。
 - ハ)肉畜農家の経営安定を図るため、素牛価格の安定化対策を講ずると共に、肉畜安定価格の引上げを行うこと。
- (2) 子牛基金対策
 - イ) 乳雄仔牛の育成生産への拡大奨励事業の強化を

の留意点の

雪印乳業中標津工場

永 隆

徳

収されていない。 ても正常な受精卵は少数しか回

②チェック必要事項

①経済性に優れ、健康な牛であ Aドナー(供卵牛)の選定

ることノ

供卵牛の選定は非常に大切で

公発情の日時。(発情の最も強 い時)

○卵巣・子宮の状態 回発情の状態。

(粘液の量 ・乗駕の有無

・色

した雌牛を準備する。その牛も (B) は前後一日以内に発情が発現 受卵牛は供卵牛と同じ日ある レシピエント(受卵牛)の選定

当である。

題牛・子宮内膜炎罹患牛または 周期の不明瞭な繁殖障害牛・問 認されていることが条件。 わたって正常な周期の発情が確 ること。少なくとも過去2回に 経済性のほかに健康な雌牛であ

長期空胎牛は供卵牛として不適

合、多排卵処置に対する卵巣反 供卵牛が繁殖障害牛である場 牛であればホルモン剤使用によ 周期がチェックされている正常 発情周期の合致しないものは、 健康であることが最大条件であ ますが経産牛でも良い。また、 る。 同期化することも可能です。 できれば未経産牛を希望し

C採卵

ような子宮疾患牛は多排卵され

がわかる。一方、子宮内膜炎の を施しても排卵数が少ないこと ような卵巣疾患牛は多排卵処置 のように正常牛と繁殖障害牛と び回収受精卵数も少ない。 応が低かったり、回収卵数およ 成績からみても卵巣のう腫の

E移植

③精液は活力の良いものを用

本数は二~五本を使用

①開腹法による移植

①自然発情で採卵する場合は人

②多排卵処置は発情から十一十 四日にホルモン処置を施し、 八個の卵が回収できます。 人工授精後七日目に採卵しま 工授精から七日目で採卵しま 卵づつ採卵できます。 健康牛であれば平均六~ この方法では二十日毎に

口人工授精

会排卵・排血の確認

②多排卵処置の場合はPG注射後 ①自然発情の場合の人工授精は 現地の人工授精師に任せま めます。授精回数は二~四回 いる状態から人工授精をはじ で他の牛を乗せて静かにして 一日目前後に発情がきますの

> ③受卵牛数より回収卵数が多い ②頸管法による移植 ④開腹法で移植する場合、 場合は凍結保存し 植に使用できます。 後日、 受卵 移

> > 当幌通

見だより

農協若手職員

との交流会

⑤凍結卵を移植する場合、 から六ー七日目に移植します 牛は前日の夜から絶食して下 ら連絡して下さい。 ので受卵牛の発情をみつけ 発情

表 1 正常牛と繁殖障害牛の過剰排卵および卵回収成績(Elsden et al, 1979) 平均黄体数 平均回収卵数 平均受精卵数 X 分 処置頭数 (個) 9,5 (10,3) 6.8 (6.4) Œ 常 4: 26 11.3 (666) (318)(6.1)(2.4)繁殖障害牛 11 10.1 1.9 子宫内膜炎 7.6 4.0 3 30 3.3 卵巣のう腫 16 4.1 0.3. 原因不明 21 8.0 3.0 1.0

内の数字はHaslerら(1983)による

なスピーチで始まり、アル ていただきました。 今回は管理部・購買部を中 は営農部・生産部と行い、 協へ行け、気軽に職員と話 心とした若手職員に参加 を迎えるが、一回目の昨年 れたもので、今年は二回目 しが出来るようにと企画さ くなった事から、気軽に農 流会を開催しました。 コールもほどほどに入り、 三日、農協若手職員との交 部当幌支部)では、二月十 これは、若い部会員が多 交流会は自己紹介と簡単 当幌飼養部会(農協青年

り方、 るものとなりました。 そくまで、交流し、意義あ いろな話題が出され、 経営の問題から、職員のあ 趣味の事まで、いろ 夜お

生活講座35

農夫肺を防ぐために

北根室地区農業改良普及所

とした動作でも息切れを起こす

なります。

に体内に送りこまれず、

ちょっ

環境に居る限り、

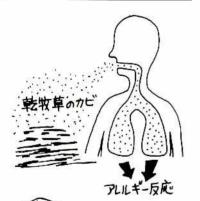
回復は難しく

ため肺全体がむくみ酸素が十分 アレルギー反応を起こし、

乾牧草取扱い数時間後に 表 1 見られる自覚症状

呼吸症状	鼻水、せき、たん 息切れ、のどが痛い	
全身症状	体がだるい 寒気がする 熱がある	
眼皮膚等	眼がかゆくなる、涙が出る 発しん、じんましんが出る	

カビ:アクチノミセス属真菌 (好気性放線菌) 50~60℃の高温で繁殖し、1 mmの数100分の1の大きさの カビ。



農夫肺の早期発見のポイント

- 1. 日中牧草をいじったあと、夜に 体がだるくなり、熱、せき、息切 れがする。
- 冬になり畜舎での作業が多くな るとせきや息切れがする。
- 年中せきや息切れがする。
- 4. 体重が減ってくる。
- 5. よく風邪をひく。

のではなく、乾牧草のカビに対 カビを吸った人すべてに起こる ようになります。 このアレルギー反応は

強く、食欲がなくなり、 ことにより、年々咳・息切れが 毎日少しずつカビを吸い込む 場合に

する反応が陽性とでる 血液検査(乾牧草のカビに対 この病気は、 伝染病と違い人

から人へ移るということはあり

生しやすい時期に健康診断 特にこの病気の

す 農夫肺には、 大きく分けて二

ります。

たカビの胞子を吸い込むことに

農夫肺とは枯草の中に繁殖し

し陽性の体質の人のみ起こりま

よっては痩せることもあり、

H

よっておこる肺炎の

昨年の春に新聞、

TVの報道 一種です。

酪

一急性型

通りの型があります

状が出ます。 だ後、数時間後に風邪に似た症 一度に大量のカビを吸い込ん

農地帯に波紋をなげました。 によりクローズアップされ、

(寒気・熱・だるさ・筋肉痛

かけて多く発病しています。

舎内で給餌する、冬から春先に

この病気は貯蔵した乾牧草を

になってしまうと乾牧草を扱う と二~三日で治りますが慢性型 咳・息切れ これらの症状は、 仕事を休む

に肺の中に吸い込むことにより

その

乾牧草に生えるカビを作業中

○診察 雑音が聞える に細かな曇りがうつる ○胸部レントゲン写真

(聴診器を当てると肺に

が自覚できる ◎予防法 一カビの繁殖しない良質な乾牧

口カビた乾牧草をいじらない。 四年に一回、 防じんマスクをつける(カビ では、効果は少ない が小さいため、普通のマスク 草をつくる。

ないこともあります ○自覚症状の有無 ②診断方法 いるために、 臓の悪くなった時の症状と似て 常生活に支障をきたす結果にな この病気は、 農夫肺とは気づか 風邪や肺炎、 (前述の症状 i 期発見、

も完全に良くはなりません。 症状がひどくなると、治療して は慢性化していることから、 農夫肺にかかった三人に一人 しかし、慢性型のように年々 早期治療が大切です。

ません。早いうちに病気を見つ 手当てをすると完全に治り (急性は治りやすい)

新年度よりの乳牛登録について

海道支局からの通達で、四月一 ◎登録料金の改訂について アップの七千円にそれぞれ値上 行の三千三百円が五百円アップ 生後六ヶ月以内の登録料金は現 訂されます。それによりますと 日より血統登録の料金が一部改 げされます。 上の六千五百円が同じく五百円 の三千八百円に、また六ヶ月以 日本ホルスタイン登録協会北 っております。

申込み料金については、一牛群 頭千円になります。従って現行 の料金となり、一万円プラス一 また、検定成績証明書の一括 一頭二千五百円より割安とな

春が七月十日から十八日まで、

度からは、冬の個体審査は中止 れか一回しか受検出来なくなり されましたし、個体審査につい 三回は受検出来ましたが、 九ヶ月を経過していれば、年に 秋と実施され、前回の審査から ◎体格審査の改訂について ては一農家で春または秋のいづ ましたのでご了承願います。 体格審査については冬・春・ なお本年の個体審査の日程は 新年

おすすめいたします。

し込み取りまとめは四月に行い はじめて牛群審査を受ける まだ中

以内でも受ける事ができます。 場合は前回個体審査から九ヶ月 りませんが、今年は個体審査と 条件の良い方で受検されるよう すと、その後個体審査にもどる 検を希望される方は二ヶ月前迄 同じ日程で実施されますので受 標津では受検されている方はあ ◎牛群審査について ます。なお今年の春の体審の申 事は出来ませんので御注意願い しかし、一度牛群審査を受けま に農協に申し込みをして下さ 牛群審査については、

ております。受検を希望される での日程で実施される事になっ 秋は九月十八日から二十七日ま

方は、牛の状況を十分考慮し、

見栄や因習に

とらわれず

HAMANA MARANA MA していませんか?。 出が多いシーズンです。 にするお付き合いをしましょう 無理や無駄を省き、心を豊か 見栄や因習でのお付き合いを 三月・四月は、入学・進学・転勤等で交際費の支 生活改善」を はかりましょう!



第十三回理事会

開催場所 開催月日 二月一日 農協役員会議室

理事会の経過

、昭和五十九年十二月末組勘 除き他は申込みどうり貸付が 精算残の処理について 一部条件整備を要する人を

> 決定しました 割賦貸付 五十二名

短期貸付 一九九、六〇二千円 三五、二〇〇千円 六名

農協資金 四件

制度資金 九件

三七、一五〇千円

五十八名 三三四、 八〇二千四

二、農地取得に対する資金借入 について

三、公社営畜産基地建設事業の 実施と補助残融資について

原案どおり決定しました。

施年度時点で資金対応の審査 を行うことに決まりました。 全体計画の申請を行い、 実

もあります。 の年度に実施が出来ない場合 なお国費予算の関係で希望

自己資金 三、一八四千円

四

七八〇千四

四五、一四千円

四、パーソナルコンピューター の導入について

機種内訳等次のとおり承認

想は、まろやかで、牛乳の臭い

ものだが、試食してもらつた感 牛乳を加え、きな粉をまぶした 受賞している作品。小麦もちに

もなくとてもおいしいとのこ

と。好評に部員はホットして

パソピア一六〇〇一M三〇 ードウエア合計(買取)

本体

されました。

について

ほかに半夏生餅に挑戦した。 はホットミルクやいもだんごの るのに一役買っているが、今年

この餅は、牛乳と小麦粉を使

農民連盟との懇談会の回答 ソフトウェア合計 一三五千円 四三千四 事で承認され原案どおり決定 しと、経営委譲を行っている 出資の減口について 後継者に持分の一部譲り渡

Ŧį,

年間保守料 年間リース料 リース(五年)

四六四千円

しました。

それぞれ口答で回答するこ

価格の設定について とで承認されました 昭和五十九肥料年度の肥料 別紙掲載の原案どおり決定

、九六五千四

ました。

書 定年延長実施に関する協定 (案)に基づき、管理購買委

しました。 〈協議事項〉

子について 、六〇年度事業計画作成の骨 管理購買委員会、営農委員

し部落懇談会に諮る事になり

一、職員の定年延長について

会、生産委員会で素案を作成

〈報告事項〉

状況について

三、中標津空港整備事業につい

昭和五十九年十二月末財務

一、中国黑竜江省酪農実習生根 、昭和五十九年度の生乳販売 室管内受入協議会の設立につ

員会に付託されました。

道常例検査の回答について

八、家畜人工授精事業(十一

状況報告について

六、組合長の台湾乳牛消流研修 七、販売事業(十二月末)の実績 について について

〈その他〉

末)の実績について

月

会の開催について 根釧合同農協理事、 監事研修

と努力により、三度の石油ショ

ックから立ち直り、現在がある

は少しも変っていない。将に油

を断たれては日本の繁栄はあり

わけだが、石油依存の産業構造

部講演会開かれる!! *油断から糧断へ

部もまつりに参加し、盛り上げ

まつりが開催された。農協青年 ウンドにて第十回なかしべつ冬

二月三日、中標津中学校グラ

婦



コンクールで農林水産大臣賞を つたものだが、全国の牛乳料理

り出した。しかし日本人の英知 日本経済にパニック状況をつく けだが、石油ショックの影響は ら石油に大きく方向転換したわ 長時代にエネルギー源は石炭か 日本の現状に触れ、 田惶氏を迎えました。 会が開催されました。 人部員三十七名が参加し、 講師には北海道農協学校の武 二月五日、根室農業会館で婦 武田氏は講演の中で少資源国 高度経済成 講演

> 得ないわけだ。 しかし、今は石油よりも大切

日本の食料自給率はわずか三十 なものがある。それは食料で、 とは生命を断たれること。 いるわけで、食料を断たれるこ 三%。七十%近くが輸入されて

まされ、講演会を終りました。 て厳しい情勢に対処するよう励 担い手であることに自信を持っ る重要性と農家は重要な食料の 自給率を高める運動を展開す

品名	ì	容量	N	戊 P	K	分 I M g	供給価格	区分 容 成 分 供給 品名 N P K Mg 供給	価格
059	早	20 kg	10	25	9	Nig	1,679	N P C W 成 早 20 kg 17 46 1	.742
V1 30.75	春早	100	TOWN	65000	- 20		1,721 2,030	春 1 日	,774
S 865	春	11	8	26	15	3	2,073	タイケミ加工古工 春 " 60 1	,972
S 953	早春	"	9	25	13		2,209 2,251	サルボマグ <u>早</u> # 21.5 18.5 —	-
S 291	早	"	12	19	11		1,690 1,731	ケ イ フ ン 早 15 ^{kg}	548 548
S 014	早	n	10	21	14	3	1,883	ハイグリーン 早 15 kg 15 15 1	,383
S 102	春早	, ,,	11	20	12	2	1,926 1,931	本 15 15 17 17 17 18 19 19 19 19 19 19 19	,417 860
	春早			19605		-	1,972 1,957		860
S 959	春早	11.	9	25	9		1,999	松 状 過 石 春 " 18	500
スペッシャル30	春	".					911	私 私	.,591 .,651
ネオマグライト	早春	"					881 903	ョーリン早ポー	
マグライム	早春	îr					911	ホタテ貝がら粉末 早 30 kg	546
※日東農機取扱い肥	1590	ベック	入力に	ついて	l /±20k	g 袋換 (i. 1 炒	クサイ企業取扱肥料	546
当り20円対策され								□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	,721
	1500000000	.Martes	0.000					ネイクラス 051 春 20 10 13 11 2 1	,763
丹	波	屋」	取初	1 月巴	料			" 350 春 " 13 15 10 2 1	,889
ダイホスカ 202	早春	20 kg	12	20	12	3	1,716		,057
" 473	早春	11	14	17	13	3	1,718	# S 152 早 # 11 15 12 3 2	,166
フロンティア 432	早	,,	14	3	12		1,313	# S 173 早 # 11 17 13 3 2	,274
п п	春早	ne kg			- 33		1,394 1,939	各 2	545
30 0 100 100 100 100 100 100 100 100 100	春早	30 kg	14	3	12		2,019 1,711	緑風シェル春 " 4/02/14 23%	545
黄 3 号	春	20	13	10	11		1,790		.011
白 棒	早春	H.	11	14	11	3	1,818	山 本 物 産 取 扱 肥 料	
わかくき S 305	早春	11	13	20	15	3	1,849 1,929		, 247
ダイヤ 625	早	и	16	12	15		1,644	# NS-804 早 # 8 20 14 3 2	,226
コーン S 502	春早	η	15	20	12	5	1,724 1,998		, 303
	春早	kg.				-	2,078 2,172	春 2 早 2	,141
アミノ 873	春	TI Va	8	17	13	3	2,252	アルチック春 " 2	,062
ごこく新特1号	早春	# kg	9	8	8		2,141 2,221	7 9 5 年 版 春 " 6 4 1.5 1	,603 ,603
粒状ごこく	早春	- H	8	8	8		2,162 2,241		,988
高度複合 404	早春	11.	14	20	14	3	1,569 1,622	東豊取扱肥料	1000
" 353	早	n	13	25	13	5	1,574		,251
	春早						1,627 1,301		,369
<i>"</i> 304	春早	"	13	10	14		1,354 1,291	# B B 456 年 # 14 5 26 5 18 2 18	, 459
" 575	本	n	15	7	.5	4	1,343	事 300 13 6 13 5	
" 797	早 春	B					1,470 1,521	硫 加早 25 年 1	,798
n 058	早春	.n	10	25	8		1,490 1,543	北見シードテープ取扱肥料	
n 422	早春	n	14	22	12	4	1,574	ホタテ貝 かラ粉末 早 30 ts アルカリ分 53% カルシウム 36%	546
n 561	早	THE	15	16	11		1,627 1,458	# 円 世 孝 早 10 kg 1	546 ,500
200/05:	春早		2000		100	n -	1,511 1,564	存 <u>1</u>	,500
" 532	春早	"	15	13	22	3.5	1,616 1,702		,500
ミネラル 168	春	H	11	16	18	6	1,782		,700 ,700
S B S 846	早春	n	8	24	16	6	1,841 1,921		

昭和59肥料年度(59年7月~60年6月)肥料供給価格

		ホ	ク	レン	取	扱用	巴 料				_	_		2	区分	容		成		ir	供給価格
_			区分	容		戏		F)	1	品名				_	軍	最高	N	Р	K	Mg	1,111
品名		_	_	量	N	P	K	Mg	供給価格	草	(3)	地	NK	C 13	存	20	12		30		1.187
梳		安	早春	20	21				633 684		H		ВВ	122	早春	п	10	20	20	5	1,551 1,616
塩		安	早春	11.	25				626		y		ВВ	055	早春	н	10	25.	15	5	1,604 1,670
尿		素	早春	"	46				1,380 1,448		"		ВВ	008	早春	11	10	20	18	5	1,519 1,585
Ŧī	灰 窒	素	早春	"	20				2,122		#		ВВ	121	早春	n	10	20	10	5	1,387 1,449
4	1) 耐	石石	早春	25 kg	16				1,493 1,493		n		ВВ	565	早春	n	15	6	15	3	1,243
過	(粒)	石	早春	20 ks		18			815 870		77		ВВ	363	早春	11:	13	6	.13	3	1,152 1,216
11:	(粉)	in 8	早春	n.		18			713 768		ii		ВВ	456	早春	JF	14	5	26	5	1,361
重	過	石	早春	n		40			1,625 1,702		"		ВВ	652	早春	"	6	15	22	5	1,365
熔	ij	ン	早春	n		20		15	1,058		η		ВВ	556	早春	,,,	15	15	16	4	1,483 1,549
7	ブーリ	2	早春	"		35		7	1,425	馬	鈴	署	6	号	早春	≥H;	7	11	9	3	1,349 1,334 1,408
苦	土 重	焼 燐	早春	w.		35		4.5	1,570 1,651		n	S-Gill	S	053	早春	·n	10	15	13	4	1,406 1,631 1,725
塩	(株九)	ħп	早春	и			60.5		981		n		S	004	早春	"	10	20	14	5	1,892
航		tru	早春	п			50	,	1,427 1,495		n	-	S	804	早春	n	8	20	14	5	1,986
サー硫酸	ルポ酸加里	マグ苦土	早春	n			21.5	18.5	920		\widetilde{H}_{c}		S	806	早春	n	8	20	16	5	1,850 1,811
硫	7	7	早春	n				25	1,360	有	梢	Ė	3	号	早	n	8	12	12	2	1,905 1,928
9	ンカ	ル(粉)	早春	30 kg	(アル	カリ	53%)		365 365		"		S	606	春早	n	6	10	6	2	2,022 1,320
粗(ログログ タン	カル	早春	"	(アル	カリ	53%)		365 365		n		S	876	春早	n	8	7	6		1,396 1,897
粒:	找タン	カル	早春	п	(アル	カリ	53%)		417	E	_	ŀ	S	848	春早	n	8	14	18	6	1,972 1,905
<i>#</i> i :	土タン	カル	早春	n	(アル	カリ	53%)	6	451 451		. #		S	182	春 早 春	n	11	18	12	4	1,999
i,	ネ カ	IV	早春	20 kg	アルリンマン	カリサン	53% 2 % 3 %	6	261 303		116		S	873	早	п	8	17	13	4	1,954 1,870
9 >	カリン	6 号	早春	н	リンアル	サン	6 % 50%	4	499 525	7		ン	S	382	春早	n	13	18	12	4	1,963 1,756
	"	8 号	早春	"	リンアル	サン	8 % 50%	6	586 611		H:	В	BS	382	春 早 春	n.	13	18	12	4	1,850 1,598
	ペレッ	ト)フン	早春	15 kg			0070		623	※ ホ	ウレ	- > I	又扱 、	ΑВВ	-	, , , < , ,	ク入れ	しについ	ヽては		1,664 換算、
	1 4 5		早春	10	ア	レカリ	分 35	%	623 15,000 15,000							格折込					
<i>1</i> /4.	地	122	早春	20 kg	10	20	20	5	1,703 1,797					日 3	東勝	⊨ 材	取	扱 肥	料		
	n	055	早春	н	10	25	15	5	1,763 1,857	<i>オ</i> -	ール		クス	1号	早春	20 kg	11	18	13	2	2,046
	ij	456	早春	н	14	5	26	5	1,489		9	u ·		2号	早	77	9	17	13	2	2,088 2,109
	n	565	早春	"	15	6	15	3	1,356			204	1		春早	n	12	20	14	2	2,151 1,501
	n	052	早春	n	10	25	12		1,450			406	i		春早	"	14	20	16	2	1,543 1,820
	"	022	早春	n	10	12	22	5	1,732 1,518 1,611			502	2		春早	"	15	10	12	2	1,863
	n	652	早春	"	6	15	22	5	1,495 1,588			034			春早	"	10	23	14		1,490
	п	556	早春	n	15	15	16	4	1,627 1,721			654			春 早 春	"	16	5	14		1,647
	n I I	B 404	早春	,,,	14	10	14	4	1,721 1,963 2,057	3		550)		早春	n	15	5	10	2	1,291
	и	2号	早春	"	6	11	11		1,117 1,193			400	ř.		早	п	14	20	10	2	1,521
	" NK	52	早春	#	15		22		1,073			050	<u> </u>		春早	n	10	25	10	3	1,774
			H.				78-70-7	V	1,149			1.5500			春	- 1	1000	100.00	areaste all	57.00	1,763

中司哲雄さん

いて」長正路清さ るてん菜栽培につ って、「我家におけ 尾技師の司会によ のあと普及所の高 の説明があり、そ

崎兵八さんからそ 丹羽賢一さん、西

会終わる!

中標津保養所温泉を会場に耕作 技術学習会が去る二月二十日、 者四十四名が参加して開催され てん菜生産振興会主催の栽培

昼食となりました。午後からは 等が発表され、質疑応答のあと 地区別に代表二名によるカラオ て有意義な学習会を終えまし れぞれ栽培技術の「かんどころ」 ケ大会が行われ、楽しい、そし

長繩会長の挨拶のあと、来賓 高木原料

松岡普及所所長、

り引きについて」

野原料所主任から

学習会はまず秋

「てん菜の糖分取

り決まり、昭

しました。

和六十年度の

に入りました。

所所長の祝辞があ

直ちに学習会

農協、乳用、雄仔牛哺育育成組合定期総会

組合長に横田国雄氏が選出

ました。 次のように決定しました。 事業計画は、 一、飼養管理、 一、管内肉牛共進会参加 続いて、役員の改選が行われ の開催と関係研修会の参加 管外優良生産者の視察研修 次のように決まり 衛生管理研修会

した。 議長に竹村氏 した。 り開催されま の出席者に上 議室で十二名 いても原案通 収支決算につ 年度事業報告 が進められま を選出し議事 祝辞のあと の挨拶、秋山 日、農協中会 生産委員長の 昭和五十九 竹村組合長 去る二月五 懇談をしました。 推せんされました。 牛生産振興研修会」が北海道畜 合員も婦人を含め十四名が参加 産会などの主催により、中標津 て」資料説明と話題提供があり 組合長 また、二月二十日には「肉用 課税対策委員には 寿宴で開催され、当農協組

九年八月に「北海道酪農・肉用 本道の農業の基幹作目として位 の道予算も大幅に増額されてい 置付け、積極的な振興、合理化 を図ることにし、昭和六十年度 午生産近代化計画」を公表し、 北海道においても、昭和五十

副組合長 佐々木 横 田 玉 雄氏 雄氏 有氏 行氏 すが、各戸とも採算がとれてい

近の肉用牛をめぐる情勢につい 改良普及所の秀主任により、「最 総会終了後、北根室地区農業 竹村満夫、山田一男の両氏が るようで肉素牛の今年の市況見 子想できます。 通しは、明かるく、有利販売が 〈人生八十年時代の幕明け〉

情報で 生活を いきいき いきがい

■姉妹紙=シルバーライフ お申し込みは農協へ 定価/一が月ー、870円

が乳肉複合経営を実施していま

当農協組合員では、三十数戸

税の解説書を農協で斡旋いたします。 ご希望の方は組織広報係までお申し込みください。

税務経理協会

Ħ. 納税者が自分自 育 なら 白色甲告者に対して記帳・記名日本税理士会連合会編 常取引の記帳から決算整理まで豊富な記載例でわかりやす。 動業による、間後の基本的考え方や事業所男・不動産所得 に著し対して記帳・記録保存に基づく中的服別表義のづけ、 発理士会連合会編 ならり、このも、一 ずト 日時間で100mmであると、これでは、100mmでは、1 产用度の基本・ 告者 /みから記帳・申告までをわかりやすく解説代金の計算をして申告できるように、具体例を代金の計算をして申告できるように、具体例を代金の計算を表す。 ◇女優・佐久間良子さん推せ の記 告日 帳の —手続·記帳·申告— かす、解説 のの日子類 のの日子類

〒161 東京都新宿区下落合2丁目5番13号 電話 (03) 953-3301 版替東京9-187408

^照大蔵財務協会

記帳・記録保存制度の仕組み◆白色中告者の記帳・保存制度が法制化! ●図解を盛り込んで解説するとともに、東京国税局所得税課長 櫻井 奏編 |税庁所得税課長監修 帳・記録保存制度の仕 も、具体例によってわかり易く解説した実務の決定版/物の棚卸し2牛馬・果樹等の育成費用の計算等についての解を盛り込んで解説するとともに、農業特有の1農産 農協の記帳指導員の 実務に最 * B 5 · 価 7 5 0 円 · 決算・申告まで 価500円・〒250駅大蔵財務協会編 適の解説書!

東京都千代田区三番町30の2 03 (265) 4141 振替東京7-126840

Ŧ

250

る節税の知恵を紹介。 農家におとりやすい 実例に即してわかりやすく解説。所得税、 譲越所得、 相続税、 贈与税 ―― ちょっとしたくふうでトクかてき こんなにト 改訂 版 クする節 ちょっとしたくふうでトクができ 税

作

戦

定価1000円

業経営者の青色申告の

記帳

から決算・申告に

59

年

版

農業

A 5判二九六頁

定価一一〇〇円(送料とも)

農業所得と節税 記帳 と申告のし かた

確

定申告・

還付申告のため

税務研究会編

殷家のための節税対策完全ガイドブック。 - 公长餐生者 - 卓画―ロ白色甲告・青色甲告の記帳方法から、決算、甲告の仕方までをやさして 定価-000円 高

(家の光図書) 一お申込みは農協 家の光協会

松本繁雄者

〒162 東京都新宿区市谷船河原町11 電話 03(260)3151

記帳こそ貴重 朗報

セット利用が不可欠です 税 畜産農家のための税務対策は、 記帳 することから始まり

ま す。 (送料別

TEL03(267)8599 **筑波書房** 縣替 東京5 39715 FAX03(235)5949 〒162 東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館

新たに「くみあい畜産経営簿(青色中告用)を発行いたしまおかれ、安定経営にお役立ていたたいておりますが、今年からおかれ、安定経営にお役立ていたたいておりますが、今年からはよる経営管理が必要です。くみあい畜産経営簿(7種類)は、富産経営の安定と収益向上をはかるには、日頃から簿記記帳

した。この帳簿を利用することで記帳が完結したことになり

畜産経営済と青色申告用

į

畜産農家の強~

LI

味方がまた一冊増えました。

税金対策は、 このシリ-ズで

版

申 お

0

\$ 税

方

農

協

け

る

59 60 年 年

B 5

版

A 5村四 協 関 係 定価一三〇〇円(送料とも

Li

相

四直十記被例四四頁 定価一二〇〇円(選科-談 Ü

お申し込みは、都道府県農協中央全または 舞全国農業協同組合中央会まで

読んですぐ役立つ

誰も書かなかった相続 ▼あなだに贈るシークレット情報 矢

税

▼あなだに捧げるマル秘ブラン 誰も書かなかった贈 ▼あなただけのマル秘ブラン 贈与税を⑪倍活かす 与 法

価八〇〇円〒四 宏著〈新書判〉

かりやすく説いた最新版立の実際例等を混えてわ を実際の計算例や税務調 に立って、その事前対策

相級税 、税余を納める網に、や「贈与税」に 贈与税

控除のすべてがわかる 事例を豊富に取り入れわかり易く説いた新版医療費控除の対象となるかならないかの判断 B5判·価八〇〇円〒20

東京都干代田区猿楽町2 7 15 〒101 電話 03(294)4741他 振替 東京 6-76223 税務研究会 出版局

負査成 績

2	月	乳量	前年比
Ala	旬	1,257,160.0	98.2
中	旬	1,413,150.0	111.1
下	旬	1,067,180.0	93.6
2 F	計	3,737,490.0	101.2
4月よ	り累計	54.339.920.0	103.0

月别	ランク	0	1	2	3以上
4	59	795	80	10	0
1	60	783	87	4	2
0	59	811	63	8	0
2	60	809	62	3	0

田山一	rr.	77	Ł	中	下	氏	名	Ł	中	下	氏 名	Ŀ	中	下
佐々木 邦 夫 0 0 0 0 号 島 字 0 0 0 0 後 木 愈 子 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	八	2		旬	旬	Д	11	旬	旬	旬	人 石	旬	旬	旬
赤成江 一度	西山	一義	0	0	0			0	0	1		0	0	0
日下 一 芳 0 0 0 0 佐 孫 忠 男 0 0 0 0 新 井 食 0 0 0 0 位々木 政行 0 0 0 0 5			0	1050	100.00		and the same of th		- 8 -	0		-		
加茂正 敬 0 0 0 0 佐 籐 和 男 0 0 0 片 野 թ 0 0 0 0 位生 本			- 0.0	2000						7.0.7				
佐々木 政 行 0 0 0 0 塩 田 甲 台 0 0 0 所 選 任 後 9 0 0 0 0 日 高島 頁 作 0 0 0 0 日 田 中 郷 聚 0 0 0 0 西 国 垣 産 洋 0 0 0 0 0 日 田 中 郷 聚 0 0 0 0 西 垣 垣 洋 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								- 22				4		
 三 友 篠 行 0 0 0 0 石 版 徳 次 0 1 0 0 西 村 徳 宇 0 0 0 0 高 島 貞 作 0 0 0 0 日 中 郷 0 0 0 0 西 版 章 2 0 0 0 0 福 島 貞 作 0 0 0 0 日 中 郷 0 0 0 0 西 版 章 2 0 0 0 0 福 島 貞 作 0 0 0 0 日 中 郷 0 0 0 0 四 版 章 2 0 0 0 0 福 島 貞 作 0 0 0 0 日 中 郷 0 0 0 0 日 日 年 1 1 1 1 1 古 田 起 0 1 0 0 安 章 和 永 0 0 0 0 日 代 図 0 1 0 中 村 敏 失 0 0 0 0 志 賀 正 治 0 0 0 0 月 / 口 定 則 0 0 0 夕 0 0 0 月 / 口 定 則 0 0 0 0 月 / 口 定 則 0 0 0 多 田 俊 夫 1 0 0 0 優 豫 地 区 3 月 / 広 昭 0 0 0 0 多 田 俊 夫 1 0 0 0 原 衆 ※ 0 0 0 0 万 藤 第 9 0 0 0 0 今 田 俊 大 1 0 0 0 月 / 小 本 金 司 0 0 0 月 / 口 正 則 0 0 0 0 今 田 俊 大 1 0 0 0 月 / 小 本 金 司 0 0 0 月 / 口 正 章 0 0 0 0 小 岩 正 0 0 0 月 / 小 本 金 司 0 0 0 月 / 口 正 章 0 0 0 0 丹 羽 孝 0 0 0 0 月 / 小 本 金 司 0 0 0 月 / 口 正 交 0 0 0 丹 羽 孝 0 0 0 0 日 月 / 中 月 月 0 0 0 月 / 田 正 交 0 0 0 中 川 一 平 0 0 0 0 日 月 / 日 月 月 0 0 0 月 / 田 正 交 0 0 0 上 原 徳 保 0 0 0 2 月 / 日 月 月 0 0 0 月 / 田 正 で 次 0 1 0 0 上 原 徳 保 0 0 0 2 月 / 日 月 月 0 0 0 月 / 田 正 で 次 0 1 0 0 上 原 正 億 0 0 0 0 滋 藤 正 吉 0 0 0 0 月 / 田 正 で 次 0 1 0 0 上 原 正 億 0 0 0 0 滋 藤 正 吉 0 0 0 0 月 / 田 茂 で 次 0 0 0 日 田 服 和 0 0 0 0 本 木 村 正 春 0 0 0 0 月 / 村 福 章 0 0 0 0 日 田 服 和 0 0 0 0 本 木 村 正 春 0 0 0 0 月 村 村 福 章 0 0 0 0 日 田 服 和 0 0 0 0 上 村 重 光 0 0 0 0 月 日 日 次 0 0 0 月 日 日 万 日 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7								- 100	52	10000	厅野		107144	0
高島直作 0 0 0 0 田中郷 繁 0 0 0 0 四 項 洋 0 0 0 0 0 四 項 洋 1 1 1 1 1 1 1 日田 記 雄 0 1 0 0 安達和永 0 0 0 保料 清 1 1 1 1 1 日田 記 雄 0 1 0 0 安達和永 0 0 0 保料 清 1 1 1 1 1 日田 記 雄 0 1 0 0 安達和永 0 0 0 保料 清 1 1 1 1 1 日田 記 雄 0 1 0 0 元 変質器 - 0 0 0 田代 昭 0 1 0 0 0 万 次			-	-				-						
福島信一				11/5/1	1170		部 (人)	27.5	52			-	100000	
古田 起 雄 0 1 0 安達和 永 0 0 0 松岡野代之助 0 0 0 0 中村 敏 大 0 0 0 志と賀部一 0 0 0 田代 昭 0 1 0 0 0 万												_		the second second
本 多 前 0 0 0 0 志 賀 詔 − 0 0 0 田 代 昭 0 1 0 0 中 村 敏 夫 0 0 0 0 志 賀 正 治 0 0 0 月 井 / 口 定 則 0 0 0 0 万 野 勇 0 0 0 0 篠 木 栄 0 0 0 0 万					70.0					1077		1000		
中 村 敏 夫 0 0 0 0 志 賀正 治 0 0 0 井/口 定 即 0 0 0 0 万			- 25						0	-		1000	1	
裏野勇ののののの機 株 大田の大田の大田の大田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田				0	0		E 治	0	0	0	井ノ口 定 則	0	0	0
多田俊夫 100 0 保養 機大 E 知持広明 000 0 小岩正 000 00 000 00 000			0	0	0			0	0	0	安江孝男	0	0	0
伏見哲の100000 100000 大 木 敏 夫 0000 0000 山口宏幸 0000 0000	多田	俊夫	1	0	0	俣		地	X			0	0	0
中 川 一 平 0 0 0 0 小 林 金 司 0 0 0 0 峰 松 秀 樹 0 0 0 0 日 武 佐 地 区 板 橋 松 寿 0 0 0 0 中 一 美 0 0 0 0 日 刊 7 3 2 4 0 0 0 0 日 岩 井 早 0 0 0 0 日 井 岡 2 次 0 1 0 0 日 刊 8 2 次 0 1 0 0 日 刊 8 2 次 0 1 0 0 日 刊 8 2 次 0 1 0 0 日 刊 8 2 次 0 1 0 0 日 刊 8 2 次 0 1 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 1 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 刊 8 2 次 0 0 0 0 日 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		ĭЕ —	0	0	1000							1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
武 佐 地 区 板 橋 松 寿 0 0 0 分 井 一 美 0 0 0 0 分 円 羽 季 0 0 0 0 岩 井 昇 9 0 0 0 0 片 岡 正 天 0 0 1 1 0 0 円 羽 賢 一 0 0 0 0 服 部 一 好 0 0 0 0 頭底正正春 0 0 0 0 上 原徳 保 0 0 0 0 遠藤 正 吉 0 0 0 0 遠藤 直 行 0 0 0 0 上 原徳 保 0 0 0 0 高橋 文 大 0 0 0 0 左 扇 田 底 一 0 0 0 0 位		哲	72		1000					- 5000		-		
丹羽 季 0 0 日子井 早 0 0 0 片 岡 定 次 0 1 0 丹羽 賢 雄 0				the second second	0	小林:						1		
丹羽賢一 0 0 0 0 服 部 一 好 0 0 0 弾正原正 春 0 0 0 0 中司哲雄 0 0 0 0 遠藤 正 吉 0 0 0 0 園光 昭 0 0 0 上原 億保 0 0 0 0 0 高橋 文夫 0 0 0 0 佐 伯 任 次 0 0 0 五藤正 億 0 0 0 0 本村 晴 由 0 0 0 來 極 夏 0 0 0 0 西海 清 高 0 0 0 0 小山 茂 0 0 0 小山 茂 0 0 0 月 橋 清 高 0 0 0 0 小山 茂 0 0 0 小山 茂 0 0 0 元 本村 正 春 0 0 0 0 加 藤 繁 1 0 0 0 西里 雅 隆 0 0 0 0 本村 正 春 0 0 0 0 旅 原 野 月 0 0 0 0 上村 弘 志 0 0 0 0 旅 原 野 月 0 0 1 日田 慶和 0 0 0 1 上村 弘 志 0 0 0 0 流 本 広 0 0 0 上村 五 0 0 0 元 上村 弘 志 0 0 0 0 流 平 4 明 0 0 1 月 百 春 0 0 0 0 藤 原 唐 1 0 0 0 0 上村 弘 志 0 0 0 0 流 平 4 明 0 0 1 日田 慶和 0 0 0 0 上村 弘 市 0 0 0 2 上村 1 0 0 0 0 元 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2									100	17287	100	177.85		
中 司 哲 雄 0 0 0 虚 藤 幸 一 0 0 0 目 光 町 0														
上原徳保 0 0 0 0 遠藤正吉 0 0 0 0 遊藤直行 0 0 0 0 万井正					76.0			1000				10000	100000	_
正			132.00	_		- 001011 - 1115000								
冊 橋 清 高 0 0 0 0 松 村 晴 由 0 0 0 0 来 橋 寛 0 0 0 0 百 井 清 志 0 0 0 0 小 山 茂 0 0 0 川 村 清 身 0 0 0 0 日 黒 雅 志 0 0 0 0 本 村 正 春 0 0 0 0 加 藤 繁 1 0 0 0 0 正 乗 重 美 0 0 0 0 上 村 弘 志 0 0 0 0 元 萩 原 蝶 七 0 0 0 0 日 里 雅 金 0 0 0 0 上 村 重 光 0 0 0 0 産 平 義 明 0 0 1 1 日 田 慶和 0 0 0 上 村 重 光 0 0 0 0 産 本 広 0 0 0 1 日 田 慶和 0 0 0 上 村 重 光 0 0 0 0 産 本 広 0 0 0 1 日 上 隆 0 0 0 0 松 本 正 通 0 0 0 0 元 本 広 0 0 0 日 上 村 正 春 0 0 0 0 元 本 広 0 0 0 1 日 上 隆 0 0 0 0 松 本 正 通 0 0 0 0 元 本 広 0 0 0 1 日 上 隆 0 0 0 0 松 本 正 通 0 0 0 0 万 山 栄 作 0 0 0 日 長谷川 寿 0 0 0 歳 藤 忠 義 0 0 1 中 浦 健 雄 1 0 0 0 中 条 日 台 0 0 0 上 5 島 利 春 1 0 0 1 中 浦 健 雄 1 0 0 0 日 原 任 年 1 0 0 0 日 日 彦 隆 0 1 1 日 日 度 日 日 彦 隆 0 1 1 日 日 度 日 0 0 0 日 日 彦 隆 0 1 1 日 日 彦 原 勝 日 日 6 0 0 0 藤 田 末 0 0 0 日 彦 彦 隆 0 1 1 日 彦 原 勝 日 0 0 0 日 彦 彦 隆 0 1 1 日 6 日 6 日 6 0 0 0 藤 田 末 0 0 0 日 彦 彦 隆 0 1 1 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7													1	
酒井清志 0 0 小山茂 0 0 0 川村清身 0 0 0 日田村清身 0			999	1 22	1000			1807	100	77.655		32/33	1,000	1000
日 黒 椎 隆 0 0 0 本 村 正 春 0 0 0 加 藤 繁 1 0 0 0 工 藤 重 美 0 0 0 0 管原 弘 0 0 0 不 权 原 蝶 七 0 0 0 0 見 玉 光 彦 0 0 0 0 上 村 弘 志 0 0 0 0 程 野 昇 司 0 0 1 1 日 田 慶 和 0 0 0 0 上 村 立 0 0 0 流 本 広 0 0 0 1 日 田 慶 和 0 0 0 0 上 村 立 0 0 0 流 本 広 0 0 0 1 日 田 慶 和 0 0 0 0 上 村 立 0 0 0 流 本 広 0 0 0 0 日 井 口 精 一 0 0 0 0 上 村 立 0 0 0 流 本 広 0 0 0 1 日 田 度 和 0 0 0 0 上 村 立 0 0 0 流 本 広 0 0 0 0 日 井 口 精 一 0 0 0 松 本 正 通 0 0 0 0 流 本 広 0 0 0 0 長谷川 寿 0 0 0 藤 原 信 雄 1 0 0 八木原 明治郎 1 0 1 1 亿 尻 武 夫 0 0 0 0 藤 原 龍 塩 1 0 0 1 中 浦 健 雄 1 0 0 0 中 条 由 治 0 0 0 上 ケ島 利 春 1 0 0 町 田 芳 照 0 0 0 0 意高橋 昌 信 0 0 0 小 藤 田 蔵 0 0 0 房 川 晋 芳 照 0 0 0 0 藤 田 蔵 0 0 0 房 川 晋 芳 照 0 0 0 0 極 田 蔵 0 0 0 宮 脇 正 夫 0 0 0 0 藤 田 蔵 0 0 0 宮 脇 正 夫 0 0 0 0 極 田 蔵 0 0 0 宮 脇 正 夫 0 0 0 0 極 田 蔵 0 0 0 宮 脇 正 夫 0 0 0 0 極 田 蔵 0 0 0 宮 脇 正 夫 0 0 0 0 極 極 日 政 長 5 日 0 0 0 日 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 日 1 日 2 郎 0 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 田 2 郎 0 0 0 0 日 2 田 2 田 2 田 2 田 2 田								0	0	- 25			0	
工藤重美 0 0 0 管原 弘 0 0 0 萩原蝶 七 0 0 0 日 2				0	0	本 村	正 春	0	0	0	加藤 繁	1	0	0
日田慶和 0 0 0 上村重光 0 0 0 億本 広 0 0 0 月 日 日 慶和 0 0 0 上村 1 力 0 0 0 0 億本	工藤	重 美	0	0	0			0	-	0		0	0	
井口精一のののの上村力ののの一流ケ平義明ののの1 川上隆のののの機体を正通ののの内山栄作のののの内山栄作ののののでは、またのののでは、またののののでは、またののののでは、またののののでは、またのののでは、またのののでは、またのののでは、またのののでは、またのでは、またのでは、またのののでは、またのののでは、またのののでは、またのののでは、またのでは、またのでは、またのののでは、またので			0	0	1000			7777	100			7 77.55		
川 上 隆 0 0 0 0 松 本 正 通 0 0 0 内 山 栄 作 0 0 0 0 日 長谷川 寿 0 0 0 0 藤原信雄 1 0 0 八木原明治郎 1 0 1 化 尻 武 夫 0 0 0 0 産 藤 忠 義 0 0 1 中 浦 健 雄 1 0 0 0 中 条 由 治 0 0 0 回 部 稔 0 0 0 前 医 秀 照 0 0 1 日 安 由 治 0 0 0 日 日 安 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			2000	100										
長谷川 寿 0 0 0 藤原信雄 1 0 0 八木原明治郎 1 0 1 セース・原明治郎 1 0 1 中浦健雄 1 0 <td></td> <td>100000</td> <td>-</td> <td></td> <td>17.70</td> <td></td> <td>100</td> <td>0.00007</td> <td>100</td> <td>777</td> <td></td> <td></td> <td>7,000</td> <td>355717</td>		100000	-		17.70		100	0.00007	100	777			7,000	355717
 花 尻 武 夫 0 0 0 虚 藤 忠 義 0 0 1 中 浦 健 雄 1 0 0 中条 由 治 0 0 0 阿 部 総 0 0 0 前原秀隆 0 1 1 東村 保 章 0 0 0 上ケ島 利 春 1 0 0 町 田 芳 照 0 0 0 0 箇			3271	-	1 1 1 1 1 1				100	100		1 0	10000	100
中条由治のののの日部 総ののの所原秀隆の11 奥村保章ののの上ヶ島利春1000 0 町田芳照 0 0 0 萱岡信二のののの場所 日			700									-		-
奥村保章 0 0 0 上ヶ島 利春 1 0 0 町田芳照 0				-				90000	22011	-		27		- 60
萱 岡信 二 0 0 0 0				-	1					_				
高橋昌信0000藤田 清0000富脇正夫0000 中塚秀夫0000藤田 誠一0000富沢保男0000 藤原勝一1001級持幸男00000 藤原勝一1001級持幸男00000 林文雄000000 0000000 佐藤敏昭000000000 000000000 佐藤 敏昭000000000000000000000000000000000000		信一							100	1 27	房川喜清		1	
中 塚秀夫 0 0 0 0 藤 田 誠 一 0 0 0 富 沢 保 男 0 0 0 藤 原 勝 一 1 0 1 知 持 幸 男 0 0 0 公 谷 村 茂 夫 1 0 0 林 文 雄 0 0 0 0 遠藤 与畏二 0 0 0 武 田 三 郎 0 0 0 佐 藤 敏 昭 0 0 0 宮 田 実 0 0 1 藤 井 弘 美 0 0 0 佐 藤 一 広 0 0 0 鷺 見 孝 0 0 0 北 村 一 仁 0 0 0 清 原 賢 一 0 0 0 真 部 愈 0 0 0 杉 本 匡 視 0 0 0 湯 山 珍 0 0 0 田 代 義 裕 1 0 1 佐 藤 載 康 0 0 0 門 馬 正 志 0 0 0 相 沢 武 雄 1 0 0 松 本 幸 男 0 0 0 日 日 京 雄 1 0 1 古 瀬 敏 弘 0 0 0 横 田 国 雄 0 0 0 西 井 武 1 0 0 小 谷 盛 一 0 0 0 横 田 国 雄 0 0 0 土井上 信 一 0 0 0 斉 藤 勉 0 0 0 青 木 喜 三 0 0 0 熊 谷 正 0 0 0 半 沢 勇 雄 0 0 0 関 又左 2 門			1000	200	11150			1,1997		1 20				1 2 2 2
藤原勝一10019銀持奉男0000谷村茂夫 1000 林文雄000000000000000000000000000000000000			1993			藤田	滅 一	0	0	0	富沢保男	0	0	
佐藤敏昭 0 0 0 宮田 実 0 0 1 藤井弘美 0 0 0 佐藤一広 0 0 0 0 0 0 0 1 藤井弘美 0 0 0 清原賢一 0 0 0 0 0 0 1 本 屋 視 0 0 0 湯山 総 0 0 0 0 0 0 日田島義 一 0 0 0 湯山 幸男 0 0 0 日田代義裕 1 0 1 佐藤 載康 0 0 0 門馬正志 0 0 0 日田八 義裕 1 0 0 松本幸男 0 0 0 中塚文夫 0 0 0 太田直行 0 0 1 飯野盛次 0 0 0 西井 武 1 0 0 小谷盛一 0 0 竹下日吉 0 0 土井上信 - 0 0 0 秋山政雄 0 0 0 市本喜三 0 0 小沼佐太男 0 0 1 広瀬安雄 0 0 0 青木本子 0 0 1 0 0 2 2 0 0 0 1 0 0 1 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0		勝一		0	1	釼 持	幸 男	0		_		1		
佐藤一広 0 0 0 0 覧見 孝 0 0 0 北村一仁 0 0 0 清原賢一 0 0 0 真部 愈 0 0 0 杉本 匡視 0 0 0 湯山 稔 0 0 0 度辺利秋 0 0 日 島 義 一 0 0 0 湯山 幸男 0 0 0 日 代義裕 1 0 1 佐藤 載康 0 0 0 門馬正志 0 0 0 相沢武雄 1 0 0 松本 幸男 0 0 0 中塚文夫 0 0 0 太田直行 0 0 1 飯野盛次 0 0 西井 武 1 0 1 古瀬敏弘 0 0 積田国雄 0 0 西井 武 1 0 0 小谷盛 一 0 0 竹下日吉 0 0 1 土井上信 0 0 秋山政雄 0 0 0 楠田治郎 0 0 小沼佐太男 0 0 1 広瀬安雄 0 0 0 関 又左2門			0						10711		武田三郎			-
清原賢一 0 0 0 夏 部 愈 0 0 0 杉本 匡視 0 0 0 湯山 稔 0 0 0 0 渡辺利秋 0 0 0 田島義 0 0 0 湯山 幸男 0 0 0 日代義裕 1 0 1 佐藤 載康 0 0 0 門馬正志 0 0 0 日代義裕 1 0 1 佐藤 載康 0 0 0 中塚文夫 0 0 0 人田 百行 0 0 1 飯野盛次 0 0 石原竜雄 1 0 1 古瀬敏弘 0 0 0 横田国雄 0 0 西井 武 1 0 0 小谷盛一 0 0 竹下日吉 0 0 1 土井上信 0 0 0 秋山政雄 0 0 0 柳田治郎 0 0 十上正雄 0 0 百済藤 2 0 0 0 日 青木喜三 0 0 0 小沼佐太男 0 0 1 広瀬安雄 0 0 0 関 又左2門				7.2										
湯山 総 0<	The second second						^	120	-				1	-
湯山幸男 0 0 0 日田代義裕 1 0 1 佐藤載康 0 0 0 門馬正志 0 0 0 相沢武雄 1 0 0 松本幸男 0 0 0 中塚文夫 0 0 0 太田直行 0 0 1 飯野盛次 0 0 0 石原竜雄 1 0 1 古瀬敏弘 0 0 0 竹下日吉 0 0 西井 武 1 0 0 小公谷盛一 0 0 竹下日吉 0 0 1 土井上信一 0 0 0 秋山政雄 0 0 0 柳田治治郎 0 0 北井上正雄 0 0 0 百 本喜三 0 0 0 北井上正雄 0 0 1 広瀬安雄 0 0 0 青木亭三 0 0 熊谷正 0 0 2 2 2 2 0 0 0			. 2010	11 25	377			0.50	5,755.0	1		100	1000	13729
門馬正志 0 0 0 相沢武雄 1 0 0 松本幸男 0 0 0 中塚文夫 0 0 0 太田直行 0 0 1 飯野盛次 0 0 石原竜雄 1 0 1 古瀬敏弘 0 0 積田国雄 0 0 西井 武 1 0 0 小谷盛一 0 0 竹下日吉 0 0 1 土井上信一 0 0 秋山政雄 0 0 0 柳田治郎 0 0 土井上正雄 0 0 斉藤 勉 0 0 0 青木喜三 0 0 0 小沼佐太男 0 0 1 広瀬安雄 0 0 0 関 又左2門			1000	33.0	_							1	_	
中塚文夫 0 0 0 太田直行 0 0 1 飯野盛次 0 0 0 石原竜雄 1 0 1 占瀬敏弘 0 0 0 横田国雄 0 0 0 西井 武 1 0 0 小谷盛一 0 0 竹下日吉 0 0 1 上井上信一 0 0 0 秋山政雄 0 0 0 柳田治郎 0 0 0 上井上正雄 0 0 6 蔣 勉 0 0 0 青木喜三 0 0 0 小沼佐太男 0 0 1 広瀬安雄 0 0 0 青木本さ子 0 0 0 熊谷 正 0 0 0 半沢勇雄 0 0 0 関 又左ヱ門								_					7.55	-
石原竜雄 1 0 1 古瀬敏弘 0 0 0 横田国雄 0 0 0 西井 武 1 0 0 小谷盛一 0 0 竹下日吉 0 0 1 土井上信一 0 0 秋山政雄 0 0 柳田治郎 0 0 土井上正雄 0 0 斉藤 勉 0 0 青木喜三 0 0 小沼佐太男 0 0 1 広瀬安雄 0 0 0 青木ふさ子 0 0 億 熊谷 正 0 0 0 半沢勇雄 0 0 0 関 又左ヱ門								-	1					
西 井 武 1 0 0 小 谷 盛 一 0 0 竹 下 日 吉 0 0 1 土井上 信 一 0 0 0 秋 山 政 雄 0 0 0 柳 田 治 郎 0 0 0 土井上 正 雄 0 0 0 斉 藤 勉 0 0 0 青 木 喜 三 0 0 0 小 沼 佐太男 0 0 1 広 瀬 安 雄 0 0 0 青 木 ふさ子 0 0 0 熊 谷 正 0 0 0 半 沢 勇 雄 0 0 0 関 又左 z 門								-	1000	44	横田国雄			
土井上信一 0 0 0 秋山政雄 0 0 柳田治郎 0 0 土井上正雄 0 0 0 斉藤 勉 0 0 0 青木喜三 0 0 0 小沼佐太男 0 0 1 広瀬安雄 0 0 0 青木ふさ子 0 0 熊谷正 0 0 半沢勇雄 0 0 関又左2門				0.557				1000	-	0	竹 下 日 吉		0	1
土井上 正 雄 0 0 0 斉 藤 勉 0 0 0 青 木 喜 三 0 0 小 沼 佐太男 0 0 1 広 瀬 安 雄 0 0 0 青 木 ふさ子 0 0 熊 谷 正 0 0 半 沢 勇 雄 0 0 関 又左ヱ門		信一				秋 山	政 雄		-			_		
熊 谷 正 0 0 0 半 沢 勇 雄 0 0 0 関 又左 2 門		正雄	0	0					_			-	-	_
								- 1000	2.775	42/0		0	0	0
			-					_				-		- 0
山 本 雪 信 0 0 0 笠 原 良 夫 0 0 0 横 田 好 一 0 0 0	山本	雪信	0	0	0	笠原	艮 大	0	0	0	横田好一	0	0	0

質のよいミルクをつくるために これだけは守りましょう。

6つのルール

- ●手と乳房を清潔にすること
- ●搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ●ミルクの適切な冷却と貯蔵
- ●搾乳が終るたびに洗浄
- ●ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルキングシステムの定期点検

2月乳質

旬

旬

0

平

旬

1

0 0

0

氏

鈴 木

半

112

			1 12/19 b			100 1	- m - 01	1 L 75 HB	A1+		丰 次 利 干	U	U	U
*	検査	ランク2	2の場合に	は当日は	占何乳量	(_ lkg当 '	5円、3月	スエックを	口口	1	国見一男	0	0	0
	50F	月のペナ	ルティが誤	見せられ	します。					1	国見 実	1	0	0
	7	(A)								-		0	0	0
														1
									70,0429	-	斉 藤 栄 七	0	0	
		17	上	中	F	氏	名	Ŀ	中	下	伊藤秀子	0	0	0
氏		名	旬	旬	旬	12	-	旬	旬	旬	千葉清一	1	0	0
	当	幌	地	区		長渕	貞 義	0	0	0	村 井 直 行	0	0	0
e e			0	0	0	石崎	多門	0	0	0	山崎隆	0	0	0
-		五郎		0	0	林	仁一郎	0	0	0	後藤田 信 夫	0	0	0
-	5 7	17.4	0		97			0	0	0	斉 須 清 志	0	0	0
E H	日膠	生	0	0	0	高藤	祐 蔵	350	0	0	今井靖清	0	0	0
E E	日 妇	雄	0	0	0	連田	34	0			一	0	0	0
1 1	Ц	進	0	0	0	永 谷	雄幸	0	0	1	山田昭男			
可普	部 传	9 勝	0	0	0	長 縄	弘	0	0	0	房川喜延	0	0	0
-	大社		0	0	0	麻郷地	忠勝	0	0	0	井 上 亮 夫	0	0	0
	豆メ		0	0	0	小針	晴信	0	0	0	笠 井 剛	0	0	0
_	-		0	0	0	花川	秀一	0	0	0	赤堀岩男	0	0	0
	京	治					翠	0	0	0	鈴木敏夫	0	0	0
	H I		0	0	0	古沢			0	0	開陽牧場	1	1	1
	村 福		0	0	0	花川	稳	0	1000	200		地	区	
高木	喬作	常 次	0	0	0	今 井	輝 男	0	0	0	俵 橋			-
	井 智	10000	0	0	0	岡部	実_	0	0	1	名越 優	0	0	1
		秋	0	0	0	渡 辺	善行	0	0	0	乾 雅晴	0	0	0
-	井 木		0	0	1	松隈	健二	0	0	0	乾 洋	0	0	0
		枪	0	0	0	占瀬	豊	0	0	0	伊東 武	0	0	0
10.1	Ш			0	0	-	久 夫	0	0	0	大山富雄	0	0	0
-		- 男	0	- 20	707	04040. 00040	100000000000000000000000000000000000000	0	1	1	山下孝二	0	0	0
松上	EH i	5 正	0	0	0	小川	清			0		0	0	0
舟	H i	E. 義	0	0	0	佐藤		0	0	100	and the second s			
菊	地	良	0	0	0	佐藤	末 美	0	0	0	水本正二	0	0	1
遠	H 5	更 三	0	0	0	佐藤	拡	0	0	0	水 本 みどり	0	0	0
-		卷 一				佐藤	永 雄	0	0	0	山本正八	0	0	- 0
長正.		清	0	0	0	佐藤	束	0	0	0	榎 田 英 雄	0	0	0
			0	0	1	望月	幸男	1	0	1	穴 吹 貞 明	0	0	0
-				0	0	白築		0	0	0	佐 藤 きえ子	0		
-		ハナ子	0	157	0.500		10000	1	1	1	佐々木 昭 雄	0	0	0
7000	村	守	0	1	0	武田	4400	-	- 22	0	野口史朗	0	0	0
	藤	弘 成	0	0	0	高橋		0	0					0
唐	崎	幸司				熊 倉	The latest and the la	0	0	0	太田功	0	0	-
	4	標	津地	区		小林		0	0	0	岡 次郎	0	0	0
綏		饮 一	0	0	0	阿部	正六	0	0	0	金子安有	0	1	0
		恭 民	0	0	0	佐藤	-	0	0	0	高野国雄	0	0	0
	-	晴久	0	0	0	1-24 (0)	開陽		×		中 林 勇	0	0	(
-				0	0	土井上		0	0	0	工藤隆弘	2	1	(
and the same of	-	慎二	0	-7777	-	向 館		0	0	0	赤波江 清	0	0	(
-		慶一郎	0	0	0			0	2	1	沢口俊夫	Ü	0	(
-	Marie Marie	良夫	0	0	0	Ш Н		_		0	桜井義雄	0	0	(
2.157		純一	0	0	0	浅里		2	0	-	167	10000	10.00	1
荒		昭 一	0	0	0	吾 妻		0	0	0	西山 健	0	0_	
桜	井	幸一	0	0	0	鈴木	嵩				大西一郎	1	0	
佐々		繁雄	0	0	0	桜井	- 寿 夫	0	0	0	大 西 英 明	0	0	(
-		信義	0	0	0	高格		0	0	0	福島昭憲	0	0	(
		章司	0	0	0	中本	0.000	0	0	0	下川原 政 市	0	0	(
Ξ_	<u>森</u> 山	幸一	0	0	0	丸日		0	0	0	三輪貞夫	0	0	(
下														



見つけて、その数をハガキに書 いて送って下さい。 いがあるでしょうか。間違いを この絵の中には、 いくつ間違

(応募規定)

①官製ハガキに答えを書いて送 って下さい。

②あなたの氏名・住所・年令を

④宛先=中標津町東七条南二丁 ③対象者=小・中学生 書いて下さい。

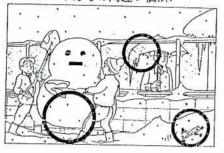
> ☆応募下さった方には全員参加 ⑤締切日=三月二十日まで ☆発表は五月号紙面でいたしま ますので多数応募下さい。 解者には当り賞を贈呈いたし 貝 賞を差し上げます。なお、 中標津町農協組織広報係 正

【一月号の当選者】

図の〇印)でした。応募者数十

月号の正解は「三つ」(下の

〈1月号の間違い個所〉



知っておきたい ◎所得税の申告と納税は 三月十五日まで

限内に済ませましょう。 ですから、申告と納税は必ず期 告と納税はもうお済みでしょう 昭和五十九年分の所得税の申 期限はどちらも三月十五日

加算税が課されます。

す。また、不正な行為があった

ような場合には、普通より重い

加算税が課され、延滞税も納め 税額の十%または五%の割合の なければならないことになりま 税金を納めるだけでなく、不足 をしなかったり、間違った申告 をしたりしますと、後で不足の い人が、三月十五日までに申告 確定申告をしなければならな

少なくて済みますし、

ついうっ

ますから、納税のための手数が 替によって納税することができ ります。この制度を利用します

銀行などの預金口座から振

方法として振替納税の制度があ なお、所得税の便利な納税の

す。

うこともなくなり、大変便利で

かり納期限を忘れ滞納してしま

高 二名で正解者は八名でした。 正解者は次のとおりです。

4 嶺 健

東武佐 白 田 部 亜紀子 宏 英 留 大 司 美 忍、

俵

です。 若奥さん みと言う のが楽し



支部を結成しましたが、月に一回程度集まり 懇談する ゆとりが出来れば、また始めてみたいと話され の後三人のお子さんに恵まれ、今は育児に忙し お生まれですが、高校卒業後すぐに家業を手伝 ておりました。また、昨年に若妻部会の中標津 い毎日ですが、絵画や手芸が好きなので時間に うようになり、五十三年に結婚されました。そ 二十七才です。順子さんは綏坂家の長女として 今月の表紙写真は中標津地区の綏坂順子さん